

東北ダンシング

The logo for CTG, featuring the letters "CTG" above a stylized letter "D".

【発行】全日本建設交運一般労働組合(略称・建交労)東北ダンプ支部
〒963-8025 郡山市桑野2-3-2
建交労福島ダンプ内
2025年10月1日発行 NO.40 TEL024-933-4511 fax024-921-1868
Email : fukusimadappu@mti.biglobe.ne.jp

車持ちダンプ労働者であれば適法

…東北運輸局と意見交換…

9月17日に東北運輸局との意見交換を行いました。今年法案で通った「トラック新法」で違法な白トラに係る荷主の取締りが貨物自動車運送事業法の一部改正が行われ、これにともないダンプの現場で混乱が起きています。特に目立つのが合材などで期日を決められ、営業ナンバーにしろと強要されています。

今回の意見交換は、全国ダンプ部会の昆部会長と渕柳全国幹事が対応しました。運輸局側は、「トラック新法は貨物自動車運送事業者を対象にしており、自家用のダンプを対象にしているない」との回答でしたが、組合は「実際現場では、自家用白ナンバーダンプが排除されている事を説明するとともに、ダンプに関しては特別にガイドラインや運用方法を別途考えてもらう」ように意見を伝えました。運輸局側は、「ガイドラインは難しい。なぜなら営業ナンバーを取得している業者を使用する荷主を対象にしているからです」との回答でした。しかし、現場が混乱している事から組合の考えをきちんと本省へ伝えることを約束しました。

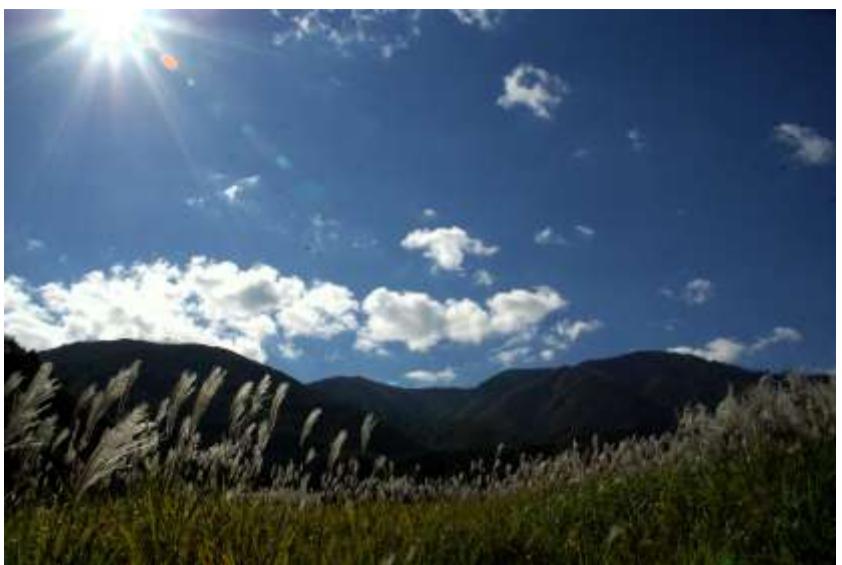
また運輸局側は、「適法な自家用ダンプの場合は請負や直接雇用（車持ちダンプ労働者）があること、運送会社の下での就労は請負であれば問題はないが、運送契約を締結している現場では『違法な白トラ行為』となると聞いている。車持ちダンプ労働者であればそれを広める必要があるし、車持ちダンプ労働者であると自覚させることも重要なのではないか」とも話しました。

車持ちダンプ労働者は、労働基準法上・労働組合法上の労働者など様々な事が絡んできますが、改めて組合として『車持ちダンプ労働者とは』の学習をしていかなければならぬと感じた意見交換・懇談の場となりました。



ハマナフの実

『釣りは芸術である。芸術とは自然にむきつ自然に還る困難を実践することである』私のような凡人には知る由もないが、いとも簡単に理解できる人も多いでしょう。また、長良川の伝説の川釣り師「古田万吉翁」が分りやすく、クスッと笑ってしまうような格言を残している。「道具がよくても釣れると思うな、魚には道具の良し悪しがわからない』▼渓流釣りは、4月からの半年が解禁で、残り半年がシーズンオフなので、オフにバージョンアップした釣りスタイルを確率する期間と決め、来期に備え新しい釣りスタイルを完成したいものである。▼現役プロのことばにこんな格言がある。「最初の一匹」が釣れた時、その釣りは大半を終わつたのだ』と言い切つている。どう感じ取るかは、釣り人それぞれがどう考えるかが大切である。▼小生は』一日幸せになりたかつたら、酒を飲みなさい、永遠に楽しくなりたかつたら釣りを覚えなさい』と言いたい。



組合員が5人ふえる！

…秋田分会

秋田分会では、半月余りで5人の組合員が新しく加入しました。30代1人、40代1人、50代1人、60代2人です。5人とも一人親方のダンプ労働者です。住んでいる地域は、大館市2人、鹿角市1人、北秋田市1人、秋田市1人です。

県北部の地域では、営業青ナンバーの業者による自家用白ナンバー排除の動きがある中で組合加入が進みました。秋田市では、30年ほど前に関東ダンプ協議会に所属していた人が加入しました。

自動車保険は組合へ

新規申込受付中

**ダンプ・乗用車
家族の軽自動車等をぜひとも!**

団体割引10%

①ダンプ・乗用車15万円まで無料
②ダンプは特約で100万円まで保障

組合がサポート
万が一の
事故対応スムーズ

東北自動車共済
代理所

福島・山形・宮城分会 TEL 024-933-4511
秋田・分 会 TEL 018-823-7748
岩手・分 会 TEL 019-604-8188
青森・分 会 TEL 017-773-6135

渓流釣りは、ほぼ4月から9月末禁で、10月から産卵期を迎えるこ

東北ダンプ支部第4回定期大会

とき 11月8日(土)13時~17時

ところ 光雲閣(福島県二本松市岳温泉 1-85)

終了後、団結懇親会を行い宿泊し、翌朝解散します。

12時30分集合。代議員制で行います。各分会の代議員数は次の通りです。組合員数15人に一人の割り当てです。

代議員数	青森分会	1
	岩手分会	6
	秋田分会	3
	福島分会	14
合計		24

このほか役員11人が加わり、大会は合計35人で構成します。

転倒を甘く見てはいけない

10月10日は転倒予防の日。転倒予防医学研究会が転倒予防の啓発事業の一環として設定しました。年齢を重ねるにつれ、筋力・運動能力が低下して転倒しやすくなります。

転倒は骨折や頭部外傷等の大けがにつながりやすく、介護が必要な状態になることもあります。骨折の症状が軽くても若いときに比べ回復に時間がかかります。さらに、転倒に対する不安や恐怖で、外出等を控えるなど、活動量が低下し、活動量低下が転倒リスクを招くという悪循環につながりかねません。

筋肉量・筋力の維持のために

転倒を防止するには筋肉量と筋力の維持も重要です。そのためには、たんぱく質の摂取と運動が欠かせません

特に高齢者はたんぱく質を積極的に摂りましょう。たんぱく質が豊富に含まれている肉類、魚類、卵、乳製品、大豆製品のどれかは毎食摂るよう心がけます。

運動はまずは毎日できるだけ歩くこと。18~64歳は60分=8千歩相当以上、65歳以上は40分=6千歩相当以上、と厚労省の「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」は提言しています。

暮らしの知恵袋

「おはようございます」と先に声をかけられた

9月のある朝、燃えるゴミを出すために、近所のゴミ集積所に歩いて行った。一足先にゴミ出しの人がいて、彼は丁寧にネットなどをかけなおしていた。一見して黒い肌の人だったのでアフリカ系の人だと分かったが、それ違う直前に、「グッドモーニング」と声をかけようか「おはようございます」と声をかけようかと迷ってしまった。その直後に相手から「おはようございます」と声をかけられてしまった。

妻に聞くと、その人はいつもゴミ出しに来る人で、近所のアパートに住んでいるのだと分かった。私は声をかけられた瞬間、何の違和感もなかったが、同時に日本に住んでいる外国人の人たちは、日本のルールを守って地域に溶け込もうと努力しているのではないかと想像した。

先の参議院選挙などでも「外国人排斥(はいせき)」を声高に叫ぶ政党が大きく伸びた。私の身近にも、これまでと違って排外主義に同調する人がいることを知った。日本人が外国に行った時は、その国の人から見ると日本人は外国人になる。

私はこれまで、組合活動やプライベートも含めて30か国程外国に行っている。その中にはモロッコやバングラデシュやインドネシアの様にイスラム教の国もある。香港にある日系のスーパーが焼き討ちにあった翌日に香港を訪れたこともある。東側と呼ばれたチェコやハンガリーも訪れた。

どの国に行った際も、日本人だからとか東洋人だからとか、嫌がらせや差別に出会ったことはない。マドリードのレストランで食事をした時などは、ウェートレスがふざけて肩から抱き着いてきたり、マスターが「日本からよく来た。俺のおごりだからこれを飲め」とオレンジベースの強い酒を出されたこともあった。

私の長男も外国で仕事をしているし、世界のあちこちに友人がいる。ドイツの友人は、妻や子供を伴なってアフリカで仕事をしているが、子供の成長の様子などをラインで送ってくる。韓国に住んでいる大学の友人は、悩みがあるとしおちゅう相談してくるらしい。

日本は島国である。こちらから飛行機や船に乗らなければ、絶対に国境をまたぐことはない。21世紀の現在に至っても、日本人の心の中には「鎖国意識」が根深く残っているのではないか。この鎖国意識と、何でも周りに合わせる「安易な同調主義」が今の排外主義を増長させているのではないか。

因みに、参政党の代表は石川県に住んでいるが、能登地震で地元に大きな被害が出ているにもかかわらず、地震が起きたその月に家族旅行でシンガポールに行っている。キャンセル料の支払いを避けるためだったそうだ。シンガポールは外国である。

消費税減税やはり必要

消費税、法人3税、所得税・住民税の推移 (単位:兆円)

